



第 1205 回例会報告

会長挨拶

会長 長崎政直

Merry Christmas

本日は、今年度、最初の家族例会です。日頃からロータリークラブに御理解を頂き、ありがとうございます。今宵は、十分にお楽しみいただきたいと思います。

クリスマスについて調べて見ました。

クリスマスは、イエス・キリストの降誕(誕生)を祝うキリスト教の記念日・祭日で、「神の子が人となって産まれてきたこと」を祝うことが本質であるとされています。となると、私たちのクリスマスの過ごし方は、趣旨から外れているように思います。日本人のクリスマスについての歴史ですが、

明治維新以前では、1552年(天文21年)に周防国山口(現在の山口県山口市)において宣教師コメス・デ・トルレスたちが日本人信徒を招いて降誕祭のミサを行ったのが日本で初めてのクリスマスがあったそうおです。その後江戸時代は幕府がキリスト教を徹底的に弾圧したことから、明治の初めまでまったく受け入れられることはなかった。しかし、明治33年に明治屋が銀座に進出し、その頃からクリスマス商戦が始まったことが大きな契機であったということです。大正時代になると、児童向け雑誌や少女雑誌の十二月号には、表紙をはじめとしてクリスマスにまつわる話や挿絵がたくさん導入されていました。戦前の昭和ですが、1926年12月25日、大正天皇が崩御し、昭和時代が幕を開けた。当時の法律「休日ニ関スル件」では先帝崩御日を休日と定めていたため、休日となり、休日ということで、外来文化のクリスマスの習慣が広く普及したとされる。

昭和3年の朝日新聞には「クリスマスは今や日本の年中行事となり、サンタクロースは立派に日本の子供のものに」と書かれるまでに普及していた。

都新聞は、「七千四百余のカフェと二千五百余の喫茶店に華やかにクリスマスが訪れ、サンタ爺さん大多忙を来たす」と報じたそうですから、水商売の世界でもビジネスチャンスとなったようです。戦時中は、敵国の宗教行事ですから、あまりやらなかっただろうと思います。

平成 22 年 12 月 23 日(木) 晴れ

そして、戦後の昭和それに続く平成、現代の日本ではクリスマスは年中行事として定着しているのです。

いずれにもせよ、日本人にとって、信仰とか、宗教とかを離れ、娯楽、歓楽というあたりでの喜びで、私の酒屋も、ワインとか、シャンパンとかが良く売れる機会ですから「まあ、良いか」と思ったりしていますが、いささか違和感があります。

人類の精神世界を支配した優れた宗教家である四大聖人と呼ばれる人々がいます。

古い順から、孔子、釈迦、ソクラテス、イエス・キリストです。孔子は「仁・義・礼・孝・忠・中庸」を重んじ、釈迦は「四諦(したい:苦・集・滅・道)・八正道(はっしょうどう)・四弘誓願(しくせいがん)等々」、ソクラテスは「科学的論理的思考、徳・正義・善・敬虔・節制・勇気具体化と実証的分析」、キリストは「自己犠牲と己より高き目的に仕えること、慈愛」を説いています。その一人のキリストの生誕のお祝いです。そんなもの思いも、今夜、少ししてみれば良いのかなと思いますし、また、来春、4月のお花見の時には、お釈迦さまに想いをはせてみるのが良いと思っています。

◇幹事報告◇

本日の例会をもって長崎年度上半期が終了します。

会長の掲げた指針「再構築」に向け、会員諸氏の挑戦が行なわれたことに厚く御礼申し上げます。

下半期の活動を迎えます。次年度への引継ぎを念頭に今後も宜しくお願ひします。

1. 以下の文書を受領いたしました。

①茅野 RC30 周年記念式典 2月 24 日開催案内が参

■ニコニコ BOX

23名	25,000円
累計	665,000円
目標額	130万円
達成率	51.1%

■今週のことば

■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	26名
出席率	84.2%
前回修正	85.7%

■ 次回のプログラム

1月 13日

海外青年協力隊 OB 卓話
国際奉仕委員会



りました。会長・幹事の参加要請がありましたので出席回答を致しました。

②RID2600 職業奉仕委員会発刊「私の職業奉仕」事例集が届きました。職業奉仕に関する考え方と実践に触れることができますのでご一読下さい。

③上田 RC 発行「RYLA in 上田」報告書が届きました。青少年育成に関わる参考にご一読下さい。

2. 連絡事項

①国際ロータリーから「ロータリーのウェブサイトの会員アクセスを利用しての報告に切り替え、郵送や E メールによる報告を不要とする」由の連絡が入りました。いよいよ印刷書式が廃止されます。次期役員はご注意ください。会員アクセスについてはロータリーHPにてお調べ下さい。

ガールスカウトから感謝の言葉

ガールスカウトから、クリスマス例会の席上寄せられた募金に対するお礼の言葉とともに記事の記載された新聞が届きました。協力できた金額は22,000円で、ガールスカウトが集めた募金の40%弱になりました。

記事中にも、ロータリーの協力の旨が掲載されていました。

第 1205 回例会 クリスマス家族例会

担当 クラブ奉仕委員会

恒例のクリスマス家族例会が今年も盛大に開催されました。

オープニングは、下諏訪中学校吹奏楽部の演奏でした。会長のお礼の言葉の中にもありましたが、下諏訪中学校吹奏楽部のシンボル曲でもある「ルパン3世」のテーマ曲は、迫力、演奏力とも素晴らしく感動いたしました。

例年私たちに清々しい感動を届けてくれる下諏訪中学校吹奏楽部に、何か協力できることはないかと会員の間で話題になりました。



練習の成果を見せた、各アンサンブル

家族例会は、クラブ奉仕のみなさんが趣向を凝らした、サンタ登場、じゃんけん大会、カラオケ大会などおおいに盛り上がりしました。

例会のスナップは、ホームページをご覧ください。



地域を育み、大陸をつなぐ



ガールスカウト日本連盟長野県第十五団 (小池敬子団委員長)

ガールスカウト 県第15団が寄付

街頭募金の 成果、社協や ユニセフへ

は二十四日、街頭募金の成果を、町を通じて町社協などへ寄せた。

十一月下旬、町内二店舗と下社秋宮の三方所で実施したユニセフ

集まった寄付金を手渡す団員たち

募金、歳末助け合い募金に、諏訪湖ロータリークラブのクリスマス会に寄せられた善意と協力店(カナディアンロッキー二店舗)の募金箱に一年間集められた計五万六千七百円、町社協へ二万五千円、ユニセフへ三万七千七百円を寄付する。

小池団委員長と団員二人が手渡した。青木町長は「不況と言われる時代に寄せてくれる気持ちがあり難い。有効に使わせてもらう」と感謝。小池団委員長

は「信号待ちの短い時間で寄付をしてくれる人がいるなど、優しい気持ちやお金の尊さを学んだ」と話した。